

第44回全国育樹祭開催



左、鈴木北海道知事、
右、金子農水産大臣による施肥

令和3年10月9・10日に、新型コロナウイルスの感染拡大で開催が1年延期されていた「第44回全国育樹祭」が「つなごう未来へ この木 この森 この緑」をテーマに北海道でオンラインも併用し開催されました。

北海道で全国育樹祭が開催されるのは、第11回1987年以来で、34年ぶり2回目となります。

9日（土曜日）は苫小牧市の苫東・和みの森でお手入れ行事が行われ、秋篠宮皇嗣殿下が赤坂御用地からオンラインでご出席される中、2007年の全国植樹祭で上皇上皇后両陛下が植えられたアカエゾマツ（北海道の木）、ミスナラ、ハル

ニシ、エゾヤマザクラ、ナナカマドに、金子農林水産大臣や鈴木北海道知事などが施肥を行いました。

翌10日（日曜日）には札幌市豊平区の北海きたえーるで式典行事が行われました。

式典のオープニングアトラクションでは、北海道の魅力映像の紹介や、「TEAM NACS」のリーダー・森崎博之氏がナビゲーターとなり、ゲストの木工デザイナー・煙山泰子氏と「木育」を紹介しました。

その後、江差追分で有名なシンガー・木村香澄さんのすばらしい国歌独唱、主催者のあいさつのもと、秋篠宮皇嗣殿下より育樹祭にメッセージが寄せられました。

このなかで、「木育」を全国に先駆けて提唱し取り組んできた北海道で、かけがえのない豊かな森を後世へと引き継いで行くことは、私たちに残された大切な務めでありましょう。このよ

うな活動が今後も多くの人々に支えられ一層発展していくことを期待しています。」とお言葉をいただきました。

そして、林業の振興や緑

化の推進などで功績のあった方々への表彰が行われました。

メインアトラクションでは、「木育開花 北の大地から未来へ、そして全国へ」とをテーマに、アイヌ古式舞踊（ムックリ・クリムセ）や、劇団フルーツバスケットと木育マイスターによる子供達のダンスなどが式典を盛り上げました。

最後に、次期開催県となる広瀬大分県知事からあいさつをいただき、式典行事が閉会しました。

その後の、エンディングアトラクションでは、江差追分（踊り）、平岸天神による、よさこいソーラン演舞が披露されました。

また、おもてなし広場で

また、おもてなし広場で



林業の振興や緑化の推進などで功績あった方々への表彰式

企画課



北の森漫画・森のカルタを展示

北海道森林管理局
ホームページ



は屋外・屋内に多くの木育に関するブースがあり参加者がそれぞれのブースで、取組の紹介や、木製スプーン・フォーク・箸作りなどの体験を楽しんでいました。

北海道森林管理局は、森林・林業・木材産業や木の文化をより多くの方々に紹介し、日本の森林・林業の応援団になっていただくために「北の森漫画」を作成しました。

今回は、「漫画」とは別に「森のカルタ」も作成し展示しました。

「北の森漫画」については北海道森林管理局ホームページで、公開していますので是非閲覧ください。

全国育樹祭の併催行事について

技術普及課

【森林・林業・環境 機械化展示実演会】

第44回全国育樹祭の併催行事「森林・林業・環境機械展示実演会」が10月10日、11日の両日、北海道苫小牧市柏原の苫小牧東部地域会場で開催されました。



グラップルレーキと
コンテナ苗自動植付機

新型コロナウイルスの影響で開催が心配されましたが、全国の緊急事態宣言が解除となり、感染対策と入場制限を行いながら2日間で約3千人が来場し、出展者等の説明を熱心に聞いていました。



フォワード

今年には林業機械メーカーなど68社が参加し、各社の林業機械や関係機材が展示され、作業の効率性や安全性の追求、更には環境問題に配慮した最新の林業機械の実演なども行われました。

北海道森林管理局はおもてなし広場において、北海道の国有林の紹介や、お山ん画などのパネル展示を行いました。

特に木の葉で作った高性能林業機械の切り絵（リーフアート）は関心が高く多くのの方に注目を浴びていました。



北の森漫画や
高性能林業機械リーフアートを展示

【育林交流集会】

全国育樹祭の併催行事として10月9日「育林交流集会」が札幌市中央区の共済ホールで開催され、「変わる天気と異常気象、豊かな気候は森で守られる」と題し、菅井貴子氏（天気予報士／気象キャスター／防災士）の基調講演が行われました。

また、「山を買うことは、地球の一部を預かること」と、來嶋路子氏（森の出版社ミチクル代表）からの活動報告があり、ユーチューブにて全国にライブ配信されました。

した。

【全国緑の少年団 活動発表大会】

同じく9日には、「全国緑の少年団活動発表大会」が札幌市北海道大学高等教育推進機構大講堂において、天羽林野庁長官、猪島森林管理局長などの来賓を迎え開催されました。



全国緑の少年団活動発表大会開会式

全国で活動する1133団体、約1万人の子どもたちの代表として、北海道「ながぬま緑の少年団」、岐阜県「中野方小学校緑の少年団」

など、5団体が活動発表を行いました。



緑の少年団活動発表

また、緑の少年団育樹成功労賞の表彰式が行われ、北海道の小林文男さん他2名の方に表彰状の授与が行われました。

お手入れ行事や式典行事、また、併催行事についても、北海道森林管理局及び関係署の多くの職員がスタッフとして参加し、大会成功の一翼を担いました。

各行事の様子は、ユーチューブで配信されていますので是非ご覧下さい。